

# 第5次常滑市総合計画

概要版

平成28~36年度 (2016~2024年度)

"感動を 次代につなぎ 世界に開くまち とこなめ"

~焼き物・海・空を生かして~

平成28年3月

発行 常滑市

事務局:企画部企画課

〒479-8610 愛知県常滑市新開町4-1 TEL:0569-35-5111 FAX:0569-35-4329 URL:http://www.city.tokoname.aichi.jp/ e-mail:kikaku@city.tokoname.lg.jp



平成 28 年 3 月

常滑市

## ごあいさつ

私たちのまち常滑市は、温暖な気候と豊富な農産物、温かな人柄の 人々に包まれた住みやすいまちです。また、古くから常滑焼の産地とし て知られ、やきもの散歩道や春の山車まつり、伊勢湾の雄大な景色、様々 な産業など地域資源にも恵まれています。

平成 17 年 2 月に中部国際空港 "セントレア" が開港し、10 年が経過しました。この間、交通は便利になり、人口増加、市民病院の新築移転、大規模商業施設等の企業立地、雇用機会の創出、交流人口の増加など、



まちは大きく変わってきました。これからは、この良き流れをさらに加速させ、"地域産業と空港の発展をまちの活力と市民生活の豊かさに生かしていく"ことが重要になります。

この「第5次常滑市総合計画」は、市民の皆様からなる"まちづくり会議"や中学生の代表者による"中学生まちづくり会議"の開催、各種団体ヒアリング、市民アンケートなど、多くの皆様からご意見・ご提案をいただきながら策定いたしました。また、計画の策定中にまち・ひと・しごと創生法が施行され、全国一斉にまち・ひと・しごと創生への取組が始まり、本市におきましても、本計画と並行して「常滑市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を本年2月に策定いたしたところでございます。2つの計画の策定に当たり、市議会始め市民の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、将来の都市像は「感動を 次代につなぎ 世界に開くまち とこなめ 〜焼き物・海・空を生かして〜」でございます。「人・文化・自然」を守り育てながら、まちへの愛着や誇りを育み、次代につなぎ、まちの魅力の創造により生まれる "感動" を全国・世界に発信することにより、地域経済を活性化し、企業立地や人口増加を促進していくこととしています。

"明るく元気なまち"、"誇りを持てるまち"の実現を目指し、市民の皆様に「常滑一番。」と実感していただけるよう無私の精神で取り組んでまいりますので、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月

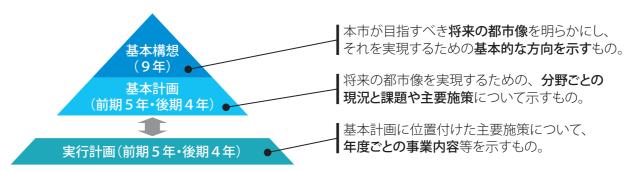
常滑市長片图憲彦

## 総合計画の策定に当たって

本市では、日本経済の低迷、少子高齢化や人口減少の進行、東日本大震災等の発生による自然災害への不安の高まりなど、私たちを取り巻く環境の変化や平成17年2月に開港した中部国際空港セントレアを生かしたまちづくりの指針とするため、新たな総合計画として、「第5次常滑市総合計画」を策定しました。

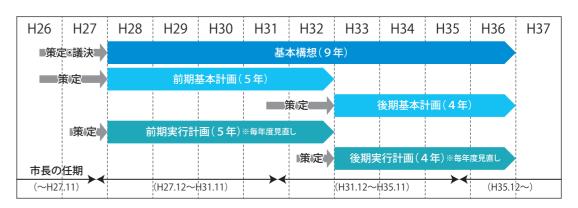
#### 構成

「基本構想」、「基本計画」、「実行計画」の三層構造とします。



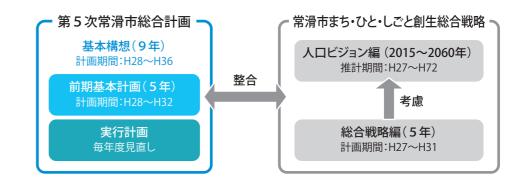
#### 期間

中長期的な観点に立って策定する本計画と選挙における市長のマニフェストとの連動を考慮し、市長の任期を踏まえたものとします。



#### 「常滑市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成28年2月策定)との関係

人口の将来展望とその実現に向けた施策や事業を位置付けた「常滑市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 と、第5次常滑市総合計画の前期基本計画はほぼ同一な期間となることから、本計画と整合を図りながら 各種施策・事業を推進します。



## まちづくりに関する意見等のまとめ

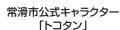
### 本市を取り巻く潮流

#### 少子高齢化の進行と人口減少社会の到来



市民参加・協働の重要性の高まり

#### 経済・雇用環境の変化





とこなめのマスコットキャラクター として誕生し、市制60周年を機に平 成26年4月1日から市の公式キャラ クターになりました。

総合防災訓練

自然災害に対する 安心・安全意識の高まり



鬼崎南小学校大規模改造 公共施設の老朽化対策



ごみ減量授業

環境問題の深刻化による 環境保全意識の高まり

### 国、県等の取組

空港島に大規模展示場の開設(2019年)

中部国際空港

東京オリンピック・パラリンピックの開催(2020年)

リニア中央新幹線(東京-名古屋間)の開業(2027年)

中部国際空港の機能強化、西知多道路の早期整備に向けた取組

#### まちの特性

(まちづくり会議、中学生まちづくり会議、若手職員検討チーム、各種団体の意見(抜粋))

市の良いところ(強み)		市の悪いところ(弱み)
人口増加/人柄が温かい/ 地域のまとまり、つながりが強い	地域(人)	地域によって人口減少や高齢化が進行/ 若い人が少ない/町内会加入率の低下
空港・りんくう地区を中心に活性化/住宅の増加/ 昔ながらのまち並み	地域(都市環境)	地域格差がある/駅前が寂しい/空き家の増加
自然豊か/海の景色がきれい	自然	里山の減少
交通利便性の向上、国際空港がある	交通(空港)	北部・南部地区における公共交通が不便
商業施設の立地による利便性向上	店舗•商業	娯楽施設・飲食店が少ない/ 高齢者が買い物等するのに不便
農水産物が豊富	農漁業	担い手(後継者)の減少
歴史と伝統がある	常滑焼	地場産業の低迷
観光客の増加/観光資源が多い	観光	観光資源の活用不足
大型店舗の立地/働く場の増加	企業•雇用	働く場が少ない
伝統文化が継承されている	伝統文化	担い手(後継者)の減少
ごみ減量化の取組	その他	災害(津波)が心配/情報発信不足/ 公共施設の老朽化/公園が少ない/市財政が厳しい



鉄道で28分

名古屋へ

車で40分、

ウェブサイト

アンケート

本市を取り巻く潮流



#### まちづくりの主要課題

- ◎子ども・子育て支援
- ◎健康づくり
- ◎安心・安全な暮らしの確保
- ◎既成市街地(中心市街地)の活性化
- ◎産業の振興(企業誘致、雇用機会の創出)
- ◎地域公共交通の確保
- ◎空港の機能強化、西知多道路の早期整備
- ◎中部臨空都市等への企業誘致
- ◎PR(情報発信)の強化
- ◎小中学校施設等公共施設の老朽化
- ◎安定した行財政運営



導き出されたキーワード

「感動」 「つなぐ」 「世界(に開く)」 「焼き物・海・空」 「元気」



市民アンケート調査

まちづくり会議

市民による "将来の都市像" 検討結果



「(ともに)創る」



市民、事業者及び行政がともに共通のイメージを持って目指すまちの姿

将来の都市像を実現するための基本的な考え方

将来の都市像 市民、事業者及び行政がともに共通のイメージを持って目指すまちの姿

## "感動を 次代につなぎ 世界に開くまち とこなめ"

~焼き物・海・空を生かして~











りんくうビーチ、里山整備、アイアンマンレース

マリンスポーツ、豊富な農水産物、温暖な気候



常滑焼、やきもの散歩道、招き猫、醸造業(日本酒)、大野の街並み 春の祭礼、山車まつり、鈴渓義塾、押し寿司



中部臨空都市(大規模商業施設、ホテル、結婚式場、マリーナ等)

私たちは、まちの魅力である「人・文化・自然」を守り育てながら、まちへの愛着や誇りを育み、次代につないでいくとともに、 人々の心に感動が生まれるように、まちの魅力を創造していきます。

そして、「感動」を全国・世界に発信し、来訪者の増加により地域経済を活性化させ、まちの認知度を高めながら企業立地や人口増加を促進していきます。

基本理念 将来の都市像を実現するための基本的な考え方

### "元気"あふれるまちづくり

誰もが健康で生き生きと暮らし、地域や産業が活気に満ちた "元気"あふれるまちづくりを進めます。

### ともに "創る" まちづくり

市民と行政がそれぞれの役割と責任を自覚し、ともに支え、一体となって "創る"まちづくりを進めます。

### 将来に"つなぐ"まちづくり

限りある経営資源を最大限に活用するとともに、 選択と集中を図ることにより、将来にわたり持続し発展していけるように、 将来に"つなぐ"まちづくりを進めます。

施策の大綱 将来の都市像を実現するための3つの基本理念に基づいたまちづくりの基本目標

人を育み、誰もが生き生きと 暮らすまちづくり

安心・安全で環境にやさしい まちづくり

快適で住みや すいまちづくり

活力とにぎわいのあるまちづくり

ともに創るまちづくり

中部国際空港セントレア、

## 前期基本計画 平成 28 年度 ▶ 平成 32 年度

#### 将来人口

### 平成 36 年度 (2024 年度) ▶▶ 目標 6 万人

本市では中部国際空港の開港以降、人口増加を続けてきましたが、高齢化の進行(本市の高齢化率 平成 27 年 3 月末現在 25.0%)や出生数の減少などにより、人口は減少の局面を迎えることが予測されます。市としても、本計画と「常滑市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の整合を図りながら各種施策・事業を推進し、少子化に歯止めをかけるとともに人口の穏やかな増加につなげることとしています。

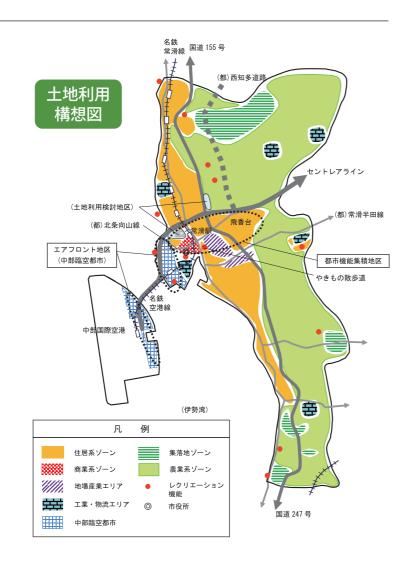


#### 土地利用構想

土地は限りある資源であり、本市の持つ歴史的、自然的、社会的な特性を踏まえ、有効に活用するように努めます。

市街化区域及び市街化調整区域について、現在の土地利用を基本とし、必要に応じて見直します。

- ・常滑駅周辺から飛香台地区について は都市機能集積地区と位置付け、機 能を充実するとともに、南北市街地及 び空港・中部臨空都市との連携を強 化し、各地区と交流促進を図ります。
- ・エアフロント地区(中部臨空都市)に ついては、次世代の産業技術やライ フスタイルが創造・発信される拠点と して県等関係機関と連携して機能の充 実を図ります。
- ・土地利用検討地区については、今後 の土地利用動向を踏まえて、具体的 な土地利用の方向について検討しま す。



#### 重点プロジェクト

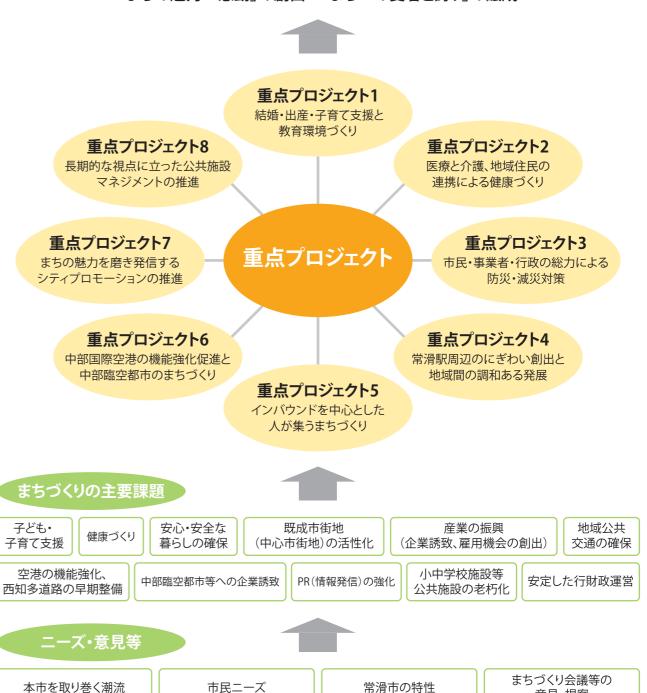
将来の都市像の実現に向け、8つの「重点プロジェクト」に積極的に取り組んでいきます。

#### 将来の都市像

#### "感動を 次代につなぎ 世界に開くまち とこなめ"

~焼き物・海・空を生かして~

「まちの魅力=感動」の創出 「まちへの愛着と誇り」の醸成



7

意見•提案

#### 重点プロジェクト1

#### 結婚・出産・子育て支援と教育環境づくり

若い世代が安心して結婚し、子どもを産み育てられ、さらに少子化の進行に歯止めをかけるため、「常滑市子ども・子育て支援事業計画」の推進など、子育て家庭への支援や子育てを支える環境づくりに取り組みます。

また、次代を担う人材を育成するため、教育環境づくりに努めます。

#### 主な施策

- ・結婚に向けた出会いの場づくり(各種イベントの開催)
- ・産科クリニック、助産院等の正常分娩実施機関の誘致の検討
- ・子ども医療費の助成及び充実(小学6年生までの通院医療費無料化)
- ・児童育成クラブの運営及び受入れ人数等の拡充
- 民間保育園等の運営委託及び助成
- ・特別支援教育、情報通信技術教育(ICT教育)の推進





子育て総合支援センター

#### 重点プロジェクト2

#### 医療と介護、地域住民の連携による健康づくり

全ての人々が生涯を通じて健康で生き生きとした生活が送られるため、市民病院における「コミュニケーション日本一の病院」を目指すとともに、病院内の保健センターや地域の医療機関、介護施設との連携強化により健康づくりを推進します。また、地域包括ケアシステム\*を構築し、共に支え合い健「幸」\*に暮らせるまちづくりを進めます。



#### 主な施策

- ・生活習慣病予防教室や講座等の実施
- ・地域住民と市民病院医療者の対話促進(市内イベントへの参加等)
- ・在宅医療連携システムの整備及び運用
- ・地域包括ケアシステムの構築及び運用
- ・ボランティアポイント制度\*の実施
- ・障がい者の生活・就労訓練費の支給



常滑市民病院

- ※地域包括ケアシステム:自力で歩行ができず寝たきりとなる重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される仕組みのこと。
- ※健「幸」: 平成 27 年 3 月に策定した「第 2 期健康日本 2 1 とこなめ計画」の基本理念「共に支え合い 健『幸』に暮らせるまちとこなめ」から引用したもの。
- ※ボランティアポイント制度:介護予防と地域の互助体制の構築を図るため、ボランティア登録した人が登録施設・事業所でボランティア活動を行った場合にポイントを付与する制度のこと。

#### 重点プロジェクト3

#### 市民・事業者・行政の総力による防災・減災対策

南海トラフ地震等の大規模地震、津波、暴風、豪雨その他の自然現象に対し、被害を最小限にとどめるとともに迅速な回復を図るため、「自助」への意識付け、「共助」の体制づくり、「公助」の環境づくりに取り組みます。

#### 主な施策

- 事業所等との連携強化
- ・自主防災会の設立支援(交付金の支給)
- 防災リーダーの育成
- ・同報系デジタル防災行政無線の整備及び運用
- ・消防団活動の実施、災害支援隊の育成
- ・海岸保全施設の維持・保全





防災訓練の様子

#### 重点プロジェクト4

#### 常滑駅周辺のにぎわい創出と地域間の調和ある発展

人口減少社会においても都市機能や地域活力を維持していかなければなりません。

名鉄常滑駅は、市の公共交通の要衝であり、その周辺は中心市街地として、にぎわい創出に努めるとともに、各地域では主体的な地域活動を支援します。また、公共交通サービスは、通学・通勤・通院や買い物等の日常生活における重要な移動手段であり、地域住民が積極的に利用していくことを基本にして、確保・充実を図ります。

#### 主な施策

- ・常滑駅周辺土地区画整理事業の推進(駅東ロータリーの整備)
- ・常滑駅前でのイベント実施の支援
- 新しい地域公共交通の調査・検討
- ・まちづくり事業費補助など地域活動の支援





駅前のにぎわい

9

#### 重点プロジェクト5

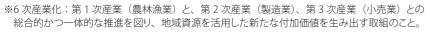
#### インバウンドを中心とした人が集うまちづくり

交流人口の増加による地域活性化を図るため、国家戦略特区(アグリ・ フロンティア創出特区)を生かした農業の6次産業化※、陶のまちとし て常滑焼ブランドの普及、インバウンド(訪日外国人旅行者)の受入体 制の充実、「昇龍道プロジェクト\*」への参加などにより、人が集うまち づくりを進めます。

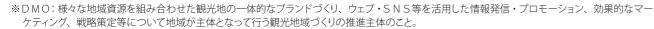


#### 主な施策

- ・国家戦略特区による農家レストラン設置の支援
- ・ 常滑焼等の販路開拓の支援
- ・常滑焼のブランド力向上の取組支援
- ・観光客受入体制の強化(DMO\*の調査・研究など)
- 無料公衆無線LAN(Wi-Fi) 設置の推進
- 観光拠点整備の推進



※昇龍道プロジェクト:中部北陸9県が官民一体となって外国人観光客誘致を推進するプロジェクトのこと。





インバウンドの様子

#### 重点プロジェクト6

#### 中部国際空港の機能強化促進と中部臨空都市のまちづくり

中部国際空港が国際拠点空港として利用が拡大され、その役割を十分に発 揮するため、機能強化(完全 24 時間化:二本目滑走路の整備) や(都) 西 知多道路の早期整備について、県等と協力して国等への要望活動を進めます。 また、空港島(約 107ha)及び空港対岸部(約 123ha)の地域開発用地 である中部臨空都市は、物流施設、大規模商業施設、ホテル、結婚式場、マリー ナ等の施設が立地するとともに、平成 31 年には空港島に大規模展示場を整 備する計画があり、非日常的で魅力ある施設立地が進んでいます。「次世代の 産業技術やライフスタイルが創造・発信されるエアフロント・シティ」を目指し、 県等との連携を強化して企業等の誘致活動や魅力づくりに取り組みます。

#### 主な施策

- ・二本目滑走路、(都)西知多道路及び名浜道路の早期整備に向けた国等への要望
- ・知多横断道路、中部国際空港連絡道路等の利便性向上に向けた取組推進
- ・空港島に大規模展示場の整備とMICE※誘致
- ・中部臨空都市への企業誘致推進及び魅力づくり促進

※MICE: 多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称。MICE誘致により、ビジネス・ イノベーションの機会の創造、地域への経済効果、国・都市の競争力向上などが期待されている。



中部臨空都市の企業立地の状況

#### 重点プロジェクト7

#### まちの魅力を磨き発信するシティプロモーションの推進

まち全体のイメージアップにより交流人口や定住人口の増加につなげ る取組みが重要です。

本市の地域資源を磨き上げ、その魅力と価値を高め、独自のイメー ジを「常滑ブランド」として創出して、常滑を広く国内外に売り込み、 人や企業を呼び込むとともに市民のまちへの愛着と誇りを醸成するシ ティプロモーション\*を市民や事業所とともに推進します。

#### 主な施策

- 国内外をターゲットとしたシティプロモーションの推進
- ・日本遺産※の認定申請及び活用(日本六古窯(常滑焼)、あいち醸造文化)
- ・常滑市世間遺産\*を巡る観光ルートの設定
- ※シティプロモーション:通常の広報とは異なり、地域資源(魅力)を発掘し、磨き上げ、その魅力 を内外に向けて総合的・戦略的に発信し、自らのまちの知名度や好感度を上げ、地域そのものを 全国・世界へ売り込むことで、ヒト・モノ・カネを呼び込み、地域経済の活性化を図る活動のこと。
- ※日本遺産:地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するもの。



アイアンマン70.3

※常滑市世間遺産:市制 60 周年特別記念事業として実施した、「常滑市の世間遺産」認定事業において、誰の心の中にもある「未来に残したいも の大切にしたいもの=世間遺産」を募集し、約7千件の候補の中から、市内の28区それぞれを象徴するものとして認定したもの。

#### 重点プロジェクト8

#### 長期的な視点に立った公共施設マネジメントの推進

社会環境の変化や地域特性に応じた適切な公共サービスを提供し、 また、安定した行財政運営を進めるため、公共施設全体について、長 期的な視点に立って財政負担を軽減・平準化しながら更新・統廃合・ 長寿命化などを計画的に行う公共施設マネジメントに取り組みます。

・公共施設マネジメントの推進

主な施策





鬼崎南小学校大規模改造

基 本 構 想 将来の都市像:"感動を次代につなぎ世界に開くまちとこなめ"~焼き物・海・空を生かして~

基本理念: "元気" あふれるまちづくり ともに "創る" まちづくり 将来に "つなぐ" まちづくり



前
12.2
期
基
本

曲

【施策の大綱】	【 人を育み、誰もが生き生きと 暮らすまちづくり																Ⅲ 快適で住みやすい まちづくり								<b>IV</b> 活力とにぎ わいの あるまち づくり							ともに創るまちづくり																																																																																																																															
健康・医療		子ども・子育て		福祉																																																																																																																											教育・文化				坊災・也或安全			環境保全・衛生		ŧ	<b>邹</b> 节			都市基盤				月	<b>産業長興</b>		2:27	空巷•中祁福空祁村	シティプロモーション		参画・協働				行財政運営			広域行政	;
9 -	医療本別づくノ	幼児教育・保育サービスの充実	専門的な子育て支援と健全育成	高齢者の支援	障がい者の支援	社会保障制度事業の適正な運	学校教育の充実	生涯学習・スポーツ振興	文化振興	災害対応の体制づくり	消防・救急体制づくり	災害に強い社会基盤づくり	地域安全の環境づくり	ごみ減量化の推進	環境保全の推進	環境衛生の推進	公園緑地・水辺空間の整備	景観形成の推進	市街地等の整備	道路交通網の整備	公共交通の確保・充実	安定した給水と適正な下水処理	社会基盤の適切な維持管理	農業・漁業の振興	商業・工業の振興	観光振興	雇用・勤労者の支援	空港との連携と空港・アクセス	中部臨空都市(エアフロント地	シティプロモーションの着手	協働によるまちづくり	男女共同参画の推進	国際交流・多文化共生の推進	市民に信頼される行政運営	効果的な情報提供	安定した財政運営	公共施設マネジメントの推進	ボートレースとこなめの適切な運営	広域的な協力体制の整備	-																																																																																																																							
		<del>*************************************</del>	成			営																理						セスの機能充実	ト地区)のまちづくり									な運営		1																																																																																																																							

### 点プロジェクト

結婚・出産・子育て支援と教育環境づくり

医療と介護、地域住民の連携による健康づくり

市民・事業者・行政の総力による防災・減災対策

常滑駅周辺のにぎわい創出と地域間の調和ある発展

インバウンドを中心とした人が集うまちづくり

中部国際空港の機能強化促進と中部臨空都市のまちづくり

まちの魅力を磨き発信するシティプロモーションの推進

長期的な視点に立った公共施設マネジメントの推進

## 前期実行計画

PDCAサイクルによる毎年度見直し

(1)Plan

基本計画に基づいて 実行計画作成•予算要求

実施

施策の実施

③Check →

点検•評価

施策の実施状況や課題を 整理•評価

(4)Action 見直し・改善

> 評価内容を受けた 施策の見直し・改善

計画書全文については、常滑市ホームページにてご覧いただけます。 URL: http://www.city.tokoname.aichi.jp/ctg/15700591/15700591.html

